

基本政策 7

多彩な産業が地域に活力を与え、 多様な人が集いにぎわうまち

施策 7-1 特色ある商業活力が融合し、かがやきを放つ都心商業の形成

施策の目標

- 再開発事業の機会を捉えた商業施設の誘導など、まちのにぎわいを創出していくとともに、商店街等による観光客の受入環境の整備を支援していきます。
- 各個店や商店街全体の魅力の創出と向上を図るため、地域の歴史・文化、顧客、立地といった特性をいかした「地域ブランド」の確立に向けた商店街の取組を支援します。また、来街者の区内回遊を促進するため、商店街が他の商店街や地域団体等と共にそれぞれの魅力をつなぎ合わせ、連携して行う事業を支援します。

施策 7-2 時代の変化に対応し、最先端の都市型産業として進化する環境づくり

施策の目標

- 本区の産業を支える中小企業がさまざまな経営課題を解決し、活発な事業活動を展開できるよう、きめ細かい経営支援を推進していきます。また、創業を促進することにより、常に新しいアイデアや活力を創出していきます。
- 中小企業の人材確保と区民の安定した就労を実現するため、関係機関との連携を強化し、雇用・就労の機会を提供します。また、中小企業で働く方々が豊かで充実した生活を送ることができるよう、勤労者福祉の充実を図ります。

施策 7-3 まちのいとなみを楽しむ「都市観光」の推進

施策の目標

- ショッピングや食文化に加え、本区の強みである歴史と文化に根ざした魅力あふれる観光資源や隅田川を中心とした潤いのある水辺環境を最大限に活用し、都市の生活を含めたまちそのものを楽しむ「都市観光」の魅力を高めていきます。
- 区内の観光情報をさまざまな媒体で積極的に発信し、来街者が区内のあらゆる場所で必要な観光情報を得ることができる環境を整えることにより、区内回遊性の向上を図ります。

目 次

基本政策 7 多彩な産業が地域に活力を与え、多様な人が集いにぎわうまち

7－1	特色ある商業活力が融合し、かがやきを放つ都心商業の形成	頁
	【99】商店街振興支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・	240
7－2	時代の変化に対応し、最先端の都市型産業として進化する環境づくり	
	【100】商工振興支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・	242
	【101】ハイテクセンター等複合施設「京華スクエア」管理事業・・・・・・・・	244
	【102】産業会館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	246
	【103】勤労者福祉・就職支援事業・・・・・・・・・・	248
7－3	まちのいとなみを楽しむ「都市観光」の推進	
	【104】商工観光団体助成事業・・・・・・・・・・	250
	【105】観光振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・	252

1 事業概要

事業名	【99】商店街振興支援事業			部課名	区民部商工観光課	
事業目的	・商店街活動を支援し、各個店や中小企業の経営の安定と地域経済の活性化に寄与する。 ・近隣商店街や地域団体等との連携・協力体制の構築を支援し、地域コミュニティの核となる商店街づくりを促進する。					
事業内容	・区内商店街が行うイベント等に対し、補助金の交付を行う。					
関連する個別計画	中央区商店街プラン2016					
基本計画	基本政策	7	多彩な産業が地域に活力を与え、多様な人が集いにぎわうまち	SDGsとの 関連	8	
	施策	7-1	特色ある商業活力が融合し、かがやきを放つ都心商業の形成			

2 財務情報

(単位:円)

行政コスト計算書				行政収入				
勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	
行政費用	人件費	13,620,067	13,642,430	22,363	地方区税	0	0	0
	物件費	8,365	12,362	3,997	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	7,012,500	3,142,040	△3,870,460	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	46,554,000	49,974,000	3,420,000
	補助費等	131,572,438	129,722,748	△1,849,690	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	46,554,000	49,974,000	3,420,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,748,872	1,892,702	143,830	行政収支差額	△107,408,242	△98,438,282	8,969,960
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
小計	153,962,242	148,412,282	△5,549,960	通常収支差額	△107,408,242	△98,438,282	8,969,960	
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△107,408,242	△98,438,282	8,969,960	
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	106,810,105	98,643,151	△8,166,954	
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△598,137	204,869	803,006	
(内訳等)				(内訳等)				
勘定科目	補助費等			勘定科目	維持補修費			
決算額の主な内訳	・商店街支援事業補助に係る商店街事業に対する補助金 118,711,157円 ・商店街美化促進事業に係る商店街事業に対する補助金 11,011,591円			決算額の主な内訳	・商店街美化促進事業に係る歩道補修費 3,142,040円			
主な増減理由	・商店街支援事業補助に係る商店街事業の実績増 2,343,157円 ・商店街美化促進事業に係る商店街事業の実績減 △4,192,847円			主な増減理由	・道路補修箇所への減による歩道補修費減 △3,870,460円			
勘定科目	都支出金			勘定科目				
決算額の主な内訳	・商店街支援事業補助の実施に対する補助金 49,974,000円			決算額の主な内訳	—			
主な増減理由	・補助対象事業の実績増による補助金増 3,420,000円			主な増減理由	—			

(単位:円)

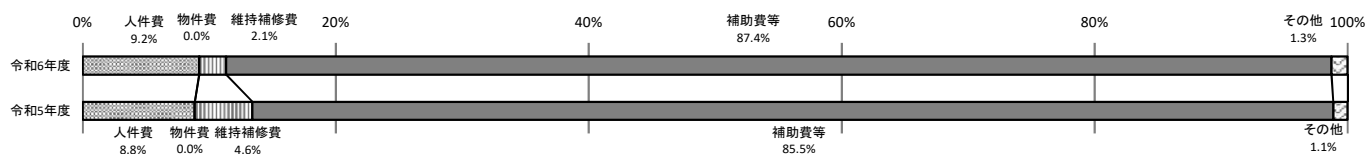
勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
② 貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0	0
		その他	0	0		賞与引当金	968,613	1,021,612	52,999
	固定資産	土地	0	0		その他	0	0	0
		建物	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
		工作物	0	0		退職給与引当金	9,353,212	8,821,351	△531,861
		重要物品	0	0		その他	0	0	0
		インフラ資産	0	0		負債の部合計	10,321,825	9,842,963	△478,862
		建設仮勘定	0	0		正味財産の部合計	△10,321,825	△9,842,963	478,862
		その他	0	0					
資産の部 合計		0	0		負債・正味財産の部合計	0	0	0	
(内訳等)									
勘定科目									
決算額の主な内訳		—			—		—		
主な増減理由		—			—		—		

3 実施内容

①	商店街支援事業補助	②	商店街美化促進事業補助	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

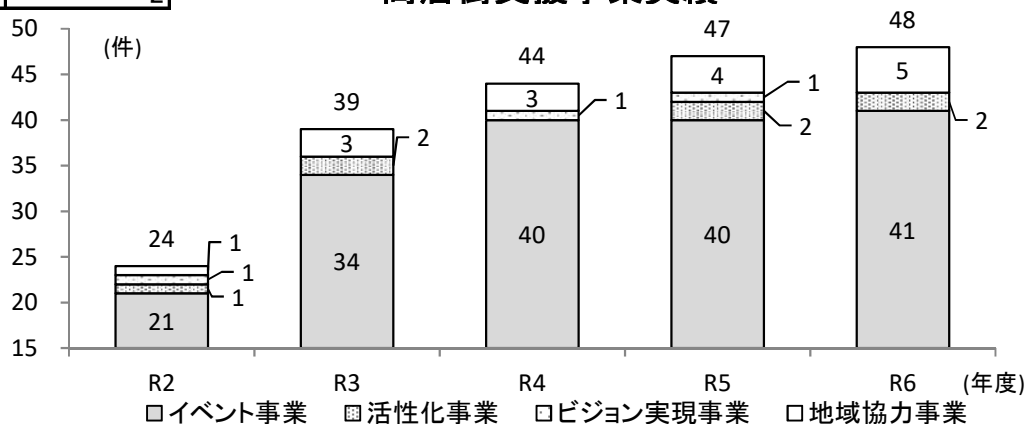
① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

項目	令和5年度	令和6年度
街路灯点検数(基)	174	31
歩道補修数(箇所)	4	2

商店街支援事業実績



5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	- 補助制度を活用し、各商店街が地域の独自性をいかしたイベント等を開催することにより、歴史・文化の継承をしつつ、商業・観光・地域コミュニティの担い手としての役割を果たしている。 - 補助制度を活用した事業は、令和5年度から1事業増加し48事業となった。若手や女性の参画を促す補助制度を活用した事業が増加しており、商店街の次代の担い手づくりが進められている。また、ホームページの多言化を実施した商店街に補助し、外国人観光客の受入れ環境の整備を支援した。 - 複数商店街が参加するイルミネーション事業やイベント事業の実施を支援することで、商店街同士の連携の強化につながった。 - 商店街が自ら整備した歩道・街路灯等の維持管理や点検を支援し、来街者が安心して買物ができる魅力ある商店街環境を確保している。
	課題	- インバウンド需要が増加しているため、商店街の外国人観光客の受入れ環境の整備に対し、引き続き支援する必要がある。 - 高齢化や人手不足等により、将来的に活動の継続が難しくなる商店街が出てくる可能性があるため、商店街の担い手づくりを引き続き支援する必要がある。

- ② 今後の方向性
- ・区の支援制度を周知し、商店街の活性化に向けた自主的な企画・取組を促進する。
 - ・来街者の回遊を促進し区内全域に足を運んでもらうために、引き続き商店街同士や地域団体等との連携・協力体制の強化を図る。
 - ・安全・安心な街路環境を確保し、魅力ある商店街づくりができるよう支援を継続していく。
 - ・商店街の外国人観光客の受入れ環境の整備を目的とした取組に対し支援を行うことで、多様な顧客の集客につなげる。
 - ・商店街の担い手の輩出につながる取組を促進し、商店街の活性化を支援する。

1 事業概要

事業名	【100】商工振興支援事業			部課名	区民部商工観光課	
事業目的	・地域経済を継続的に発展させていくために、中小企業の経営支援や創業を積極的に支援することで、区内産業の持続的な活性化を図る。					
事業内容	・区内中小企業の経営者に対し、経営を改善するために必要な資金の融資あっせんを行うとともに、当該融資に係る利子補給および信用保証料補助を実施する。 ・区内中小企業の事業発展の一助として、区内中小企業・個人事業主に必要な情報提供や補助金の交付を行う。 ・問屋街活性化委員会に対し、助成金を交付する。 ・中央区内共通買物・食事券を発行する。					
関連する個別計画						
基本計画	基本政策	7	多彩な産業が地域に活力を与え、多様な人が集いにぎわうまち	SDGsとの 関連		
	施策	7-2	時代の変化に対応し、最先端の都市型産業として進化する環境づくり			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	63,172,396	62,302,660	△869,736	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	199,064,491	279,002,223	79,937,732	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	260,581,634	175,851,630	△84,730,004
	補助費等	1,510,768,681	1,691,724,944	180,956,263	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	5,384,347	5,384,347	0	その他	62,172,375	57,754,530	△4,417,845
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	322,754,009	233,606,160	△89,147,849
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,481,119	6,902,793	421,674	行政収支差額	△1,462,117,025	△1,811,710,807	△349,593,782
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	1,784,871,034	2,045,316,967	260,445,933	通常収支差額	△1,462,117,025	△1,811,710,807	△349,593,782
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△1,462,117,025	△1,811,710,807	△349,593,782
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	1,454,516,050	1,807,073,630	352,557,580
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△7,600,975	△4,637,177	2,963,798
(内訳等)	勘定科目	補助費等			勘定科目	物件費		
	決算額の主な内訳	・商工業融資利子補給金 779,287,024円 ・買物券精算金 584,075,500円 ・信用保証料補助金 260,421,315円			決算額の主な内訳	・買物券販売等委託費 246,520,069円		
	主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症対策緊急特別資金の終了による利子補給金減 △133,936,682円 ・買物券発行規模拡大による精算金の増 291,983,000円			主な増減理由	・買物券発行規模拡大による委託費の増 74,719,163円		
	勘定科目	都支出金			勘定科目	その他(行政収入)		
(内訳等)	決算額の主な内訳	・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 173,610,630円(区内共通買物・食事券の発行 162,218,169円、商工業融資11,392,461円)			決算額の主な内訳	・信用保証料補助返還金 27,990,512円 ・宝くじ助成金収入 21,152,391円		
	主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(区内共通買物・食事券の発行)皆減 △110,713,234円 ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金増 23,742,230円			主な増減理由	・繰上完済減による信用保証料返還金減 △5,593,708円 ・利子補給返還金の増 436,495円		

(単位:円)

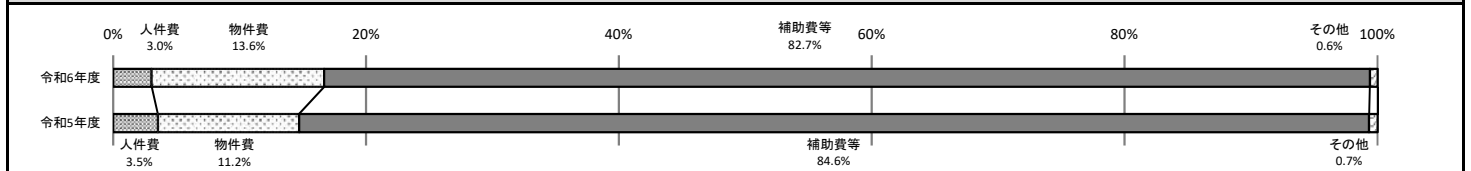
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				流動負債			
貸借対照表	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	1,197,000,000	1,200,000,000	3,000,000	賞与引当金	3,589,567	3,725,878	136,311
	土地	2,422,167,833	2,422,167,833	0	その他	0	0	0
	建物	56,372,246	53,114,306	△3,257,940	固定負債			
	工作物	4,847,709	2,721,302	△2,126,407	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	34,661,905	32,171,987	△2,489,918
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	38,251,472	35,897,865	△2,353,607
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	3,642,136,316	3,642,105,576	△30,740
(内訳等)	資産の部 合計	3,680,387,788	3,678,003,441	△2,384,347	負債・正味財産の部合計	3,680,387,788	3,678,003,441	△2,384,347
	勘定科目	土地			勘定科目	建物		
	決算額の主な内訳	・産業支援施設(YYパーク)用地 2,422,167,833円			決算額の主な内訳	・産業支援施設(YYパーク)立体駐車場、管理棟ほか 53,114,306円		
	主な増減理由	増減なし			主な増減理由	・産業支援施設(YYパーク)立体駐車場等減価償却による減 △3,257,940円		

3 実施内容

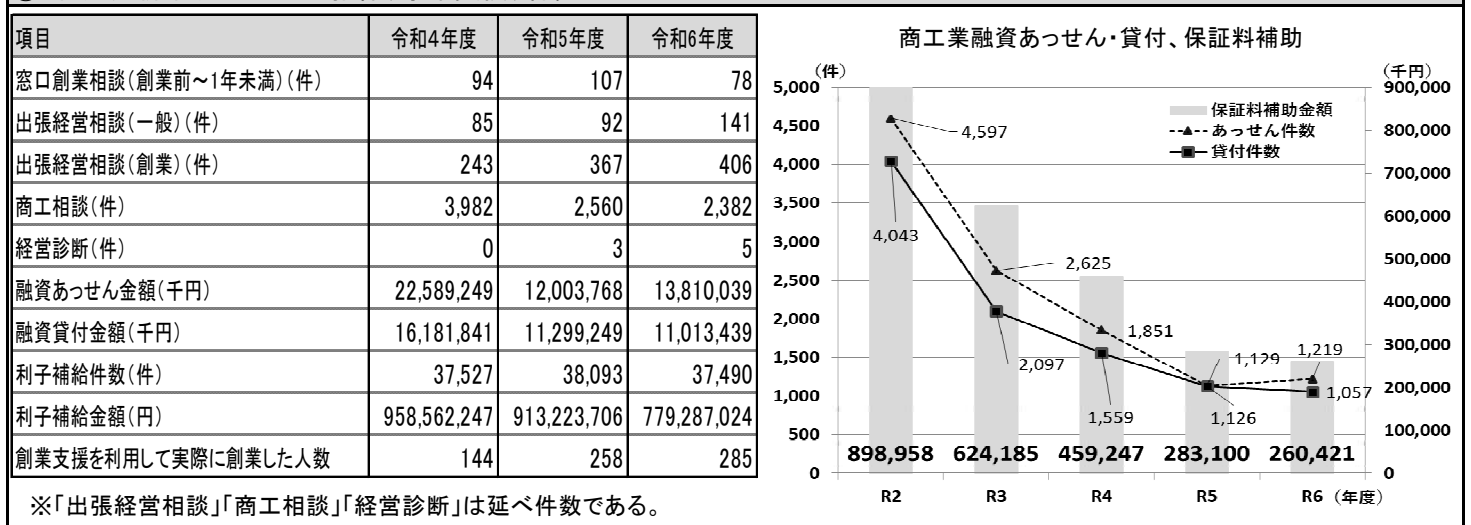
①	商工業融資	②	企業活動の活性化、近代化の支援	③	日本橋問屋街活性化事業支援	④	区内共通買物・食事券の発行
⑤	ビジネス交流フェア	⑥	産業文化展	⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

① 令和6年度の取組状況	現状・成果	・ビジネス交流フェアについては、商談数(35件)は令和5年度実績に及ばなかったものの、出展社数(67社)、来場者数(約400人)は令和5年度とほぼ同数であった。 ・区内共通買物・食事券については、プレミアム率および発行総額を拡大して販売し、区内経済の活性化を図った。一方で、申込者数の増加により、落選者が発生している。 ・商工業融資では、物価高騰や為替レート等の影響を受け経営が悪化した事業者からの申込みが増加した。業況の良い事業者からも業容拡大に係る申込みが増え、あっせん件数は対令和5年度比で8%増となった。また、令和5年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策緊急特別資金の借換資金も実施するなど、好不況双方の事業者を総合的に支援した。 ・出張経営相談は、170人からの申込み(対令和5年度比約20%増)があり、延べ547件(対令和5年度比約19%増)の相談に対応した。うち、創業相談は112人と、申込者の6割以上を占めており、不透明な経済状況下においても創業しようとする意欲の高い事業者の創業支援や経営基盤の安定化等に寄与した。 ・産業文化展では延べ5,300人が来場し、本区の代表的な産業を広く内外に紹介した。
	課題	・ビジネス交流フェアは、より多くの企業が来場することが企業間の交流および商取引の拡大につながることから商談数や来場者の増加につながるような取組が引き続き必要である。 ・物価高騰等の影響が長引く中、区内中小企業の発展と地域産業の振興を図るため、区内中小企業に対する支援の充実を図る必要がある。 ・区内共通買物・食事券の申込状況を踏まえ、より多くの方が購入できるよう、実施内容の検討が必要である。

② 今後の方向性	・ビジネス交流フェアについては、開催時期の見直しや周知活動を効果的に行うことにより、区内・区外問わず幅広い分野の企業の来場を促し、さらなる事業効果の増大を図る。 ・令和7年度は、中小企業向け補助金の拡充のほか区内共通買物・食事券について発行総額のさらなる拡大と、キャンセル・未購入分の繰上げ当選を実施し、地域産業の振興と区内経済のさらなる活性化等を図る。 ・商工業融資については、昨今の社会情勢等を踏まえ事業承継資金の新設や一部制度融資の上限額を増額するなど、より一層の支援を図っている(令和7年度実施)ところであるが、必要に応じて内容の充実を行うとともに提出書類の見直しやインターネットによる面談予約等を実施し、利便性のさらなる向上を目指す。 ・産業文化展を通して、次代を担う子どもたちをはじめとする多くの方に本区の地場産業の魅力を広く発信していく。 ・産業支援施設立体駐車場(YYパーク)の修繕を計画的に実施し、問屋街活性化委員会等が行うにぎわいづくり事業を支援することにより、問屋街の活性化を図っていく。
----------	---

令和7年度(令和6年度分) 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【101】ハイテクセンター等複合施設「京華スクエア」管理事業			部課名	区民部商工観光課
事業目的	・区内中小企業の情報化、人材育成、企業間交流等を促進し、区内産業の振興を図る。				
事業内容	・ハイテクセンターおよびハイテクセンター等複合施設の管理・運営を行う。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	7	多彩な産業が地域に活力を与え、多様な人が集いにぎわうまち	SDGsとの関連	
	施策	7-2	時代の変化に対応し、最先端の都市型産業として進化する環境づくり		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	3,204,722	3,209,984	5,262	地方区税	0	0	0
	物件費	17,957,846	17,938,202	△19,644	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	3,212,000	4,351,600	1,139,600	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	48,525,730	72,259,000	23,733,270	使用料及び手数料	10,467,076	2,143,516	△8,323,560
	減価償却費	10,248,681	10,248,681	0	その他	3,934,295	365,866	△3,568,429
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	14,401,371	2,509,382	△11,891,989
	賞与・退職給与引当金繰入額	411,500	445,342	33,842	行政収支差額	△69,159,108	△105,943,427	△36,784,319
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
(内訳等)	小計	83,560,479	108,452,809	24,892,330	通常収支差額	△69,159,108	△105,943,427	△36,784,319
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△69,159,108	△105,943,427	△36,784,319
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	58,769,689	95,742,950	36,973,261
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△10,389,419	△10,200,477	188,942
	勘定科目	投資的経費			勘定科目	物件費		
	決算額の主な内訳	・ハイテクセンター外壁改修工事 72,259,000円			決算額の主な内訳	・施設清掃業務委託 4,056,500円 ・光熱水費 3,934,943円 ・ハイテクセンター管理委託 3,502,324円		
	主な増減理由	・外壁改修工事費の増 23,733,270円			主な増減理由	・冷暖房機更新に伴う保守点検委託費の増 316,461円 ・産業廃棄物収集運搬処分委託費の皆減 △288,392円 ・ごみ処理券購入等の皆減 △34,034円		
	勘定科目	維持補修費			勘定科目	使用料及び手数料		
	決算額の主な内訳	・屋上空調設備メンテナンスデッキ設置工事 3,520,000円 ・衛生設備更新工事 781,000円 ・衛生設備更新工事費の皆増 781,000円			決算額の主な内訳	・ハイテクセンター使用料 1,470,100円 ・ハイテクセンター目的外使用料 673,416円		
	主な増減理由				主な増減理由	・テナント退去に伴う行政財産目的外使用料の減 △8,384,832円		

(単位:円)

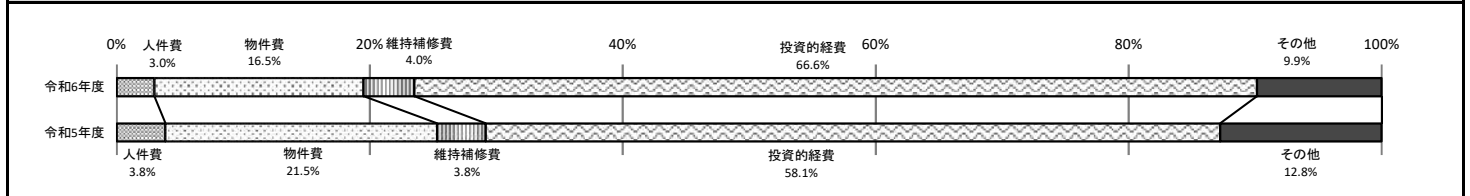
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
(内訳等)	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	227,909	240,379	12,470
	土地	675,752	675,752	0	その他	0	0	0
	建物	142,418,527	132,191,259	△10,227,268	固定負債			
	工作物	8,024,919	5,980,548	△2,044,371	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	2,200,756	2,075,612	△125,144
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	2,428,665	2,315,991	△112,674
(内訳等)	資産の部 合計	151,119,198	138,847,559	△12,271,639	正味財産の部合計	148,690,533	136,531,568	△12,158,965
	勘定科目	建物			負債・正味財産の部合計	151,119,198	138,847,559	△12,271,639
	決算額の主な内訳	・ハイテクセンター 1円(S4年竣工) ・ハイテクセンター(機械設備) 132,191,258円			勘定科目	工作物		
	主な増減理由	・ハイテクセンター(機械設備)減価償却による減 △10,227,268円			決算額の主な内訳	・ハイテクセンター等複合施設太陽光発電設備 5,980,548円		
					主な増減理由	・ハイテクセンター等複合施設太陽光発電設備減価償却による減 △2,044,371円		

3 実施内容

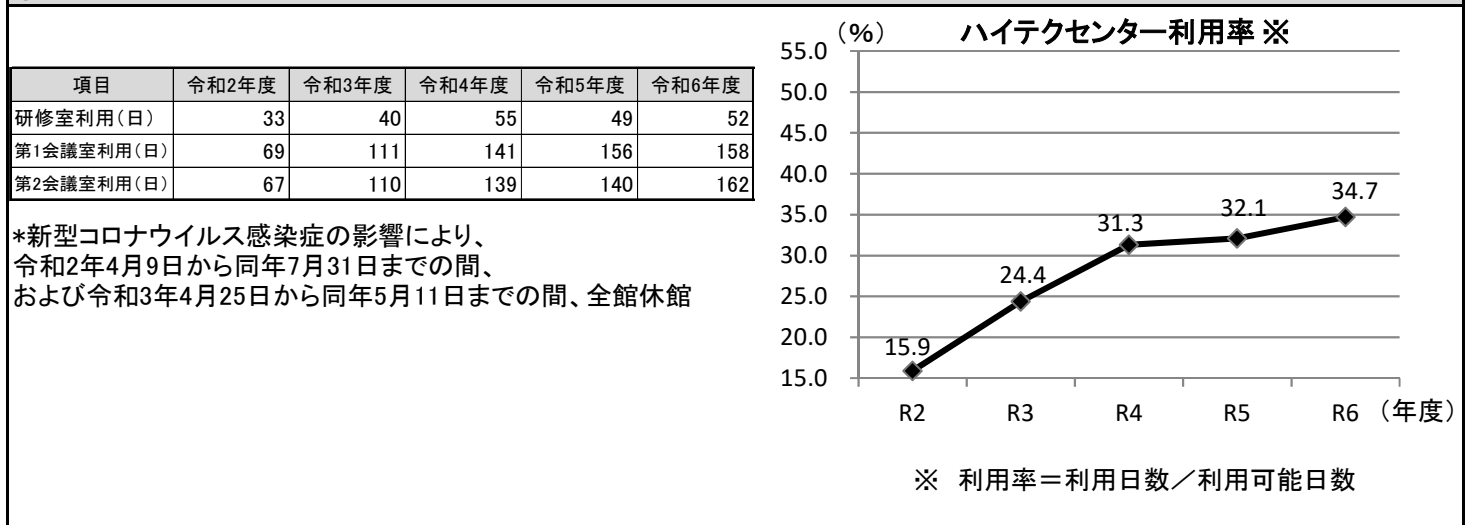
①	ハイテクセンター等複合施設「京華スクエア」の管理運営	②	ハイテクセンターの改修	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

①	現状・成果	- 経年劣化により不具合が生じた箇所を適宜修繕し、利用環境を良好に保つことにより、利用率の向上につなげた。 - 施設を安全に運営するため、外壁改修工事を行った。 - 区民の利便性の向上および現金管理等業務の省力化を図るため、キャッシュレス決済を導入した。
	令和6年度の取組状況	- 利用率は、徐々に回復しているものの、コロナ禍以前の利用率(令和元年度 49.1%)には至っていない。 3階の一部が空室のため、未活用となっている。

②	今後の方向性	- 施設の利用案内(ハイテクセンター利用のしおり)等を活用し、引き続き周知を図っていく。 - 施設の保守点検や補修等施設維持管理を適正に行うことにより、良好な利用環境を維持していく。 3階の空室について、有効な活用方法を関係各所と模索していく。
---	--------	--

令和7年度(令和6年度分) 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【102】産業会館管理事業			部課名	区民部商工観光課
事業目的	・展示室、集会室(洋室・和室)を設置し、区内商工業の振興を図るとともに、区民のためのコミュニケーションセンターとして地域コミュニティの形成を促進する。				
事業内容	・産業会館の管理・運営を行う。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	7 多彩な産業が地域に活力を与え、多様な人が集いにぎわうまち	SDGsとの関連		
	施策	7-2 時代の変化に対応し、最先端の都市型産業として進化する環境づくり			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	3,204,721	802,495	△2,402,226	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	38,606,545	39,793,623	1,187,078	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	22,068,120	23,629,480	1,561,360
	減価償却費	34,061,615	34,061,615	0	その他	26,530	27,290	760
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	22,094,650	23,656,770	1,562,120
	賞与・退職給与引当金繰入額	411,500	111,336	△300,164	行政収支差額	△54,189,731	△51,112,299	3,077,432
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	76,284,381	74,769,069	△1,515,312	通常収支差額	△54,189,731	△51,112,299	3,077,432
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△54,189,731	△51,112,299	3,077,432
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	19,987,378	17,062,735	△2,924,643
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△34,202,353	△34,049,564	152,789
	勘定科目	物件費			勘定科目	使用料及び手数料		
(内訳等)	決算額の主な内訳	・指定管理料 36,540,900円 ・展示室備品購入 2,288,000円			決算額の主な内訳	・産業会館使用料 23,629,480円		
	主な増減理由	・修繕費等の増加による指定管理料の増 814,150円			主な増減理由	・利用実績の増加に伴う使用料の増 1,561,360円		
(内訳等)	勘定科目	その他(行政収入)			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・産業会館コピー機使用料 27,290円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・産業会館コピー機使用実績の増 760円			主な増減理由	—		

(単位:円)

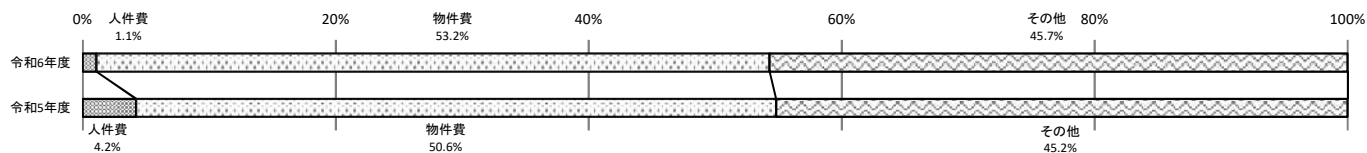
勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	
② 貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0	0	
		その他	0	0		賞与引当金	227,909	60,095	△167,814	
	固定資産	土地	775,621,436	775,621,436	0		その他	0	0	0
		建物	387,035,430	353,157,052	△33,878,378	固定負債	特別区債	0	0	0
		工作物	2,001,942	1,818,705	△183,237		退職給与引当金	2,200,756	518,903	△1,681,853
		重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
		インフラ資産	0	0	0		負債の部合計	2,428,665	578,998	△1,849,667
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	1,162,230,143	1,130,018,195	△32,211,948
		その他	0	0	0		負債・正味財産の部合計	1,164,658,808	1,130,597,193	△34,061,615
資産の部 合計		1,164,658,808	1,130,597,193	△34,061,615						
(内訳等)										
勘定科目	土地			建物			工作物			
決算額の主な内訳	・産業会館等敷地 775,621,436円			・産業会館建物 353,157,052円			・シャッター 1,818,705円			
主な増減理由	・増減なし			・産業会館建物減価償却による減 △33,878,378円			・シャッター減価償却による減 △183,237円			

3 実施内容

①	産業会館の管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

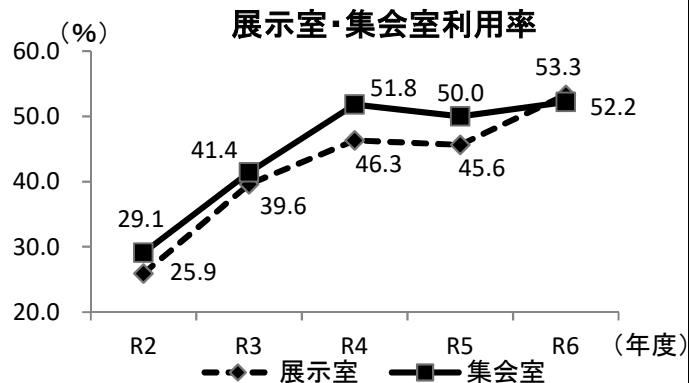
① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
展示室利用数	84	148	180	180	196
集会室利用数	1,179	2,087	2,743	2,655	2,766

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月9日から同年7月31日までの間、および令和3年4月25日から同年5月11日までの間、全館休館



5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・新型コロナウイルス感染症の影響により利用率が大幅に落ち込んだ時期があったが、近隣企業への周知や、さまざまな方を対象とした各種講座等の事業を実施したことにより、近年は一定の水準まで回復している。 ・経年劣化した備品を更新し、利用環境の改善を図った。 ・区民の利便性の向上および現金管理等業務の省力化を図るため、キャッシュレス決済を導入した。
	課題	・依然として老朽化した備品があり、貸出可能数が不足している。 ・さらなる利用率の向上が必要である。

今後の方向性	・備品を段階的に更新し、利用環境の改善を図る。 ・企業に向け事業の充実を図ることで、企業の利用を促進し、施設の認知度向上と利用率向上に努めていく。
--------	--

令和7年度(令和6年度分) 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【103】勤労者福祉・就職支援事業			部課名	区民部商工観光課
事業目的	・ハローワークや東京都等との連携により雇用・就労の機会を提供し、中小企業の人材確保と区民の安定した就労を図る。 ・公益財団法人中央区勤労者サービス公社(以下「レッツ中央」という。))に対し支援を行うことにより、区内勤労者福祉の一層の向上を図り、地域社会の発展に貢献する。				
事業内容	・ハローワーク等関係機関と連携しながら、面接会の実施等、雇用・就労の機会を提供する。 ・区内中小企業勤労者等を対象に総合的な福祉事業を行うレッツ中央に対し、補助金を交付する。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	7 多彩な産業が地域に活力を与え、多様な人が集いにぎわうまち	SDGsとの関連		
	施策	7-2 時代の変化に対応し、最先端の都市型産業として進化する環境づくり			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用	人件費 21,631,871	20,864,895	△766,976	地方区税	0	0	0
		物件費 12,211,530	12,303,565	92,035	特別区財政調整交付金	0	0	0
		維持補修費 0	0	0	国庫支出金	0	0	0
		扶助費 0	0	0	都支出金	5,711,750	5,716,370	4,620
		補助費等 79,550,936	80,910,351	1,359,415	分担金及び負担金	0	0	0
		投資的経費 0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費 0	0	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額 0	0	0	小計	5,711,750	5,716,370	4,620
		賞与・退職給与引当金繰入額 2,777,622	2,894,719	117,097	行政収支差額	△110,460,209	△111,257,160	△796,951
		その他 0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	116,171,959	116,973,530	801,571	通常収支差額	△110,460,209	△111,257,160	△796,951
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△110,460,209	△111,257,160	△796,951
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	109,510,226	111,570,490	2,060,264
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△949,983	313,330	1,263,313
	勘定科目	補助費等			勘定科目	物件費		
	決算額の主な内訳	・レッツ中央補助金 80,910,351円			決算額の主な内訳	・未就職学卒者等の就労支援事業 11,432,740円		
	主な増減理由	・人件費等の増加によるレッツ中央補助金の増 1,359,415円			主な増減理由	・未就職学卒者等の就労支援事業費の増 9,240円		
	勘定科目	都支出金			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・就労雇用支援事業補助金 5,716,370円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・就労雇用支援事業補助金の増 4,620円			主な増減理由	—		

(単位:円)

勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	
② 貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0	0	
		その他	0	0		賞与引当金	1,538,386	1,562,465	24,079	
	固定資産	土地	0	0	0		その他	0	0	0
		建物	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
		工作物	0	0	0		退職給与引当金	14,855,102	13,491,478	△1,363,624
		重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
		インフラ資産	0	0	0		負債の部合計	16,393,488	15,053,943	△1,339,545
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	483,606,512	484,946,057	1,339,545
		その他	500,000,000	500,000,000	0		負債・正味財産の部合計	500,000,000	500,000,000	0
	資産の部 合計		500,000,000	500,000,000	0					
	勘定科目	その他(固定資産)								
	決算額の主な内訳	・レッツ中央への出損金 500,000,000円			—		—			
	主な増減理由	・増減なし			—		—			
(内訳等)										

3 実施内容

①	職業相談・就職ミニ面接会	②	若年者合同就職面接会	③	未就職学卒者等の就労支援事業	④	公益財団法人「中央区勤労者サービス公社」助成
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	

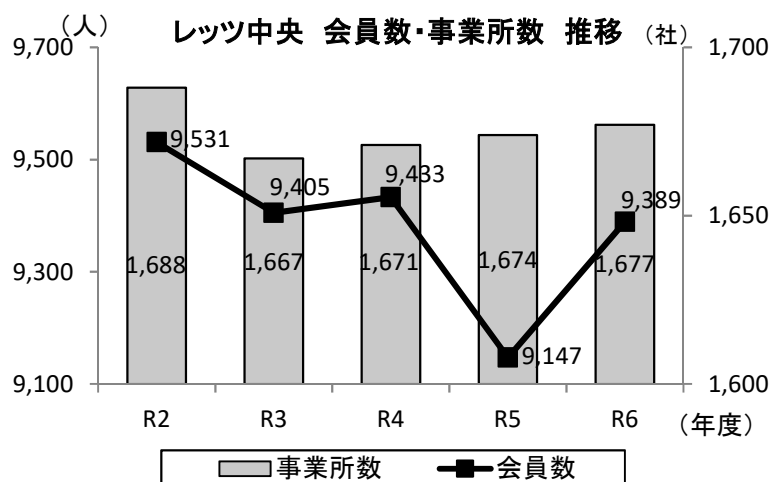
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職ミニ面接会開催実績	—	—	—
実施回数(回)	12	12	12
参加者(人)	102	111	101
うち就職者数(人)	10	25	14
参加企業(社)	23	24	23
心理カウンセリング参加者(人)	9	19	16
うち区民参加者(人)	6	9	6
若年者合同就職面接会面接件数(件)	65	62	86



5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・就職ミニ面接会において、就労希望者の就職に関する悩みや不安を解消するため、心理カウンセリングを実施し、カウンセリング終了後のアンケートでは参加者全員がカウンセリングの満足度について「とても高い」または「高い」と回答している。 ・未就職学卒者等就労支援事業において、各々のニーズに応じた支援を行いながら就職に関するスキル向上のための就職支援セミナーや合同企業説明会を開催した。 ・若年者合同就職面接会において、ハローワーク窓口での参加の呼びかけや企業開拓を早期に実施したことにより面接件数が増加した。 ・レッツ中央の事業所数はほぼ横ばいであるが、会員数は増加に転じている。
	課題	・レッツ中央のさらなる加入促進が必要である。

今後の方向性	・就労に関する区民ニーズや事業効果を把握・検証し、ハローワーク飯田橋等関係機関と協議しながら引き続き就職ミニ面接会等の事業を実施する。 ・レッツ中央で行う周知活動を支援し、認知度向上と会員の加入促進を図っていく。
--------	---

令和7年度(令和6年度分) 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【104】商工観光団体助成事業			部課名	区民部商工観光課
事業目的	・商工業の振興および観光事業の発展を目指す。				
事業内容	・中央区商店街連合会、中央区工業団体連合会、一般社団法人中央区観光協会に対して助成をする。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	7 多彩な産業が地域に活力を与え、多様な人が集いにぎわうまち	SDGsとの関連		
	施策	7-3 まちのいとなみを楽しむ「都市観光」の推進			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用	人件費 6,409,443	6,419,968	10,525	地方区税	0	0	0
		物件費 1,259,439	1,329,983	70,544	特別区財政調整交付金	0	0	0
		維持補修費 0	0	0	国庫支出金	0	0	0
		扶助費 0	0	0	都支出金	0	0	0
		補助費等 120,398,270	120,984,652	586,382	分担金及び負担金	0	0	0
		投資的経費 0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費 990,444	990,444	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額 0	0	0	小計	0	0	0
		賞与・退職給与引当金繰入額 823,000	890,682	67,682	行政収支差額	△129,880,596	△130,615,729	△735,133
		その他 0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	129,880,596	130,615,729	735,133	通常収支差額	△129,880,596	△130,615,729	△735,133
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△129,880,596	△130,615,729	△735,133
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	128,608,675	129,721,695	1,113,020
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△1,271,921	△894,034	377,887
	勘定科目	補助費等			勘定科目	物件費		
	決算額の主な内訳	・中央区観光協会に対する助成金 100,694,513円 ・中央区工業団体連合会に対する助成金 12,329,108円 ・中央区商店街連合会に対する助成金 7,951,017円			決算額の主な内訳	・京橋プラザ維持管理経費のうち中央区観光協会等の運営に要する按分経費 1,329,983円		
	主な増減理由	・中央区観光協会におけるホームページリニューアル費の皆増 6,111,160円 ・中央区工業団体連合会における創立60周年記念事業費の皆減 △5,541,472円			主な増減理由	・京橋プラザ維持管理経費のうち中央区観光協会等の運営に要する光熱水費の増 32,426円 ・京橋プラザ維持管理経費のうち中央区観光協会等の運営に要する施設維持管理の増 52,118円		
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

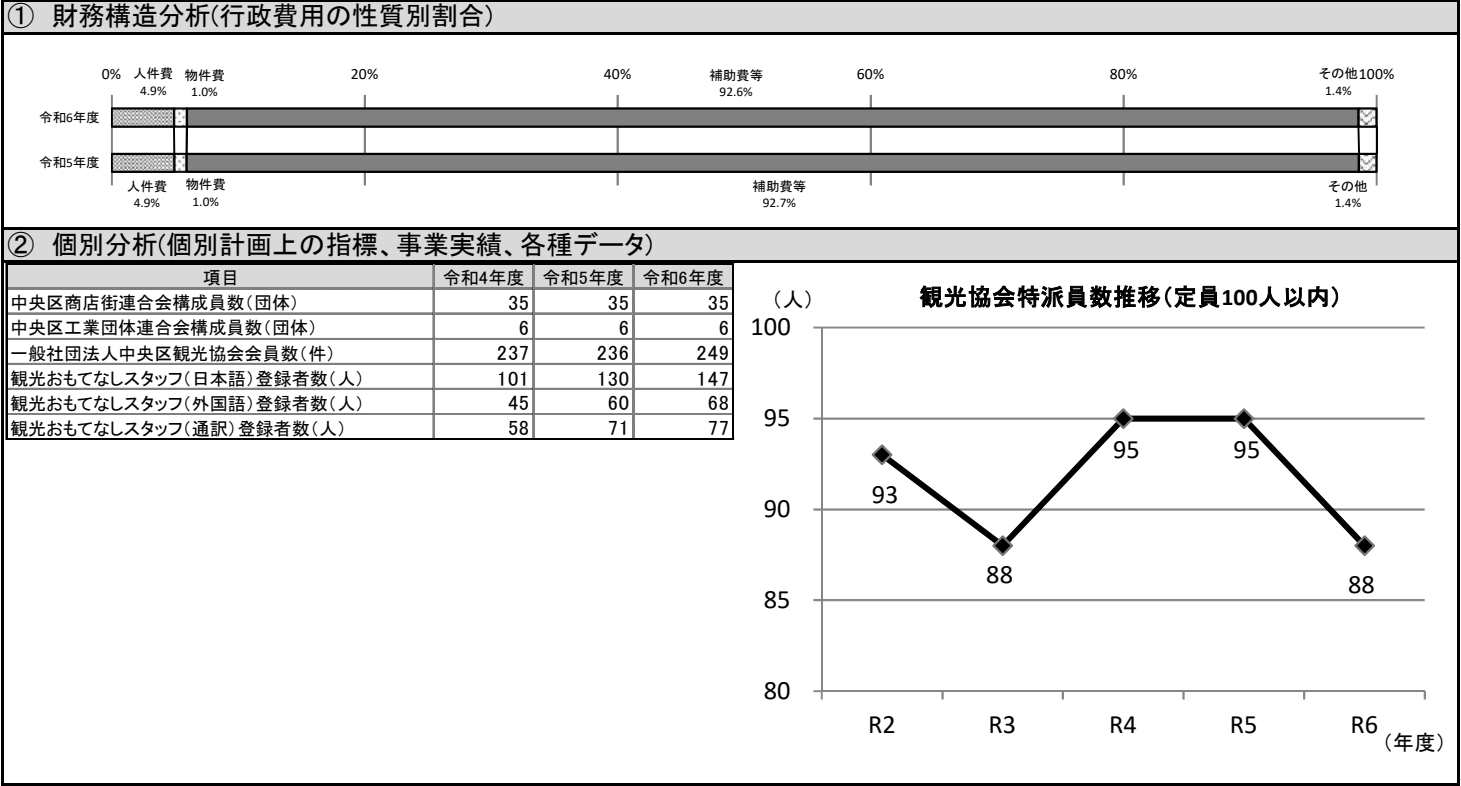
(単位:円)

② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産	収入未済 0	0	0	流動負債	還付未済金 0	0	0
		不納欠損引当金 0	0	0		特別区債 0	0	0
		その他 0	0	0		賞与引当金 455,818	480,758	24,940
		土地 0	0	0		その他 0	0	0
		建物 0	0	0	固定負債	特別区債 0	0	0
		工作物 0	0	0		退職給与引当金 4,401,512	4,151,224	△250,288
		重要物品 0	0	0		その他 0	0	0
		インフラ資産 0	0	0		負債の部合計 4,857,330	4,631,982	△225,348
		建設仮勘定 0	0	0		正味財産の部合計 △4,857,330	△4,631,982	225,348
		その他 0	0	0		負債・正味財産の部合計 0	0	0
	資産の部 合計	0	0	0				
(内訳等)	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

3 実施内容

①	商工観光団体に対する助成	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ



5 総括

① 令和6年度の取組状況	現状・成果	・中央区商店街連合会、中央区工業団体連合会、中央区観光協会に対して助成をすることにより、商工業の振興および観光事業の発展に寄与している。 ・観光おもてなしスタッフについては、総勢169人を登録し、32人の新規育成を行った。(令和5年度総勢154人) ・観光協会特派員による情報発信については、外国語でメインスポット外も幅広く発信することで、他SNS記事と差別化し、フォロワー数が国内外含め840人増えた。 ・中央区の魅力国内外に広くPRし、商品のさらなるブランド力向上を図ることを目的に、中央区を代表する土産品として推薦と投票により選定された第二回中央区推奨土産品～Central Tokyo Premium Selection～については、送料無料キャンペーンの実施に加え、ふるさと納税に採用された商品が増えた。 ・日本人による国内旅行に加え、外国人旅行者が増えたことから、中央区観光協会が運営する市場橋駐車場の駐車台数が増え、中央区観光協会の自主財源の確保につながった。 ・本区に点在する文化や商い、グルメ等の発祥の地や秘話を集めた「はじめて物語マップ」をGoogleマイマップ機能を活用し、ウェブ上やアプリ(Googleマップ)等で、閲覧・検索できるように改善した。 ・観光協会ホームページにおいて、前回のリニューアルから10年が経過し、SNS等の発展による情報取得方法の多様化に伴い、機能性やデザイン性を含めた利便性向上のため、ホームページを改修した。
	課題	・観光おもてなしスタッフについては、日々変化する観光需要への対応力が求められている。 ・SNSや情報収集の方法における飛躍的な変化に伴い、旅行スタイルも団体から個人へと変化し、旅行者へのきめ細かな対応や特別な体験が求められるようになったため、中央区観光協会の事業見直しや充実を図る必要がある。 ・中央区観光検定については、昨今の物価高等により運営費が高騰していることもあり、効果的な運用ができるよう工夫が必要である。

② 今後の方向性	・中央区商店街連合会および中央区工業団体連合会が取り組む加盟促進や会員相互の連携強化等に対して引き続き支援を行い、本区の商業振興、産業振興に係る自主的な取組を促進する。 ・区の財政負担を軽減するため、中央区観光協会の自主財源や歳入の確保を支援するとともに、国や東京都、東京観光財団等の補助制度の積極的な活用を引き続き促していく。 ・観光おもてなしスタッフの育成については、実践的な講習を実施し、旅行者のニーズに応えられる体制を作り、サービスレベルの維持が図られるよう支援を続けていく。 ・情報発信の強化や各種SNSの特性に応じた効果的・効率的かつ安全なアプローチ手法については引き続き実践的な支援を通じて運用を支援する。 ・第二回中央区推奨土産品～Central Tokyo Premium Selection～については認定期間が3年間であるため、引き続き期間中に機会を捉え、効果的に魅力を広く発信していくとともに、令和8年度に実施する第三回の選定に向け、多くの申込みにつながるよう広く周知する。 ・中央区観光検定の運営費を抑えるための検討を行う。
----------	---

令和7年度(令和6年度分) 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【105】観光振興事業			部課名	区民部商工観光課
事業目的	・観光客の誘致を促進するとともに、商店街等が実施する事業を支援することで、商業意欲の向上を図り、本区商業の発展に寄与する。 ・観光資源保存・育成団体が主体的に実施する観光事業を支援することにより、実施意欲を向上および誘発し、観光事業の振興を図る。 ・本区ならではの都市観光を充実させていくため、フリーWi-Fi等の通信環境の整備をはじめ、情報収集・発信や多様な観光資源をつなぐ施策を展開し、観光客自ら情報を発信する仕組みづくりを推進する。				
事業内容	・本区の魅力を最大限にいかした「都市観光」の推進を目的とした観光拠点(観光情報センター)の運営費等を補助する。 ・中央区観光商業まつり実行委員会が実施する観光商業まつりに対し、補助金の交付を行う。 ・商工観光団体が実施する事業に対し補助金の交付を行う。 ・本区の観光振興を図る上で特に重要と認められる地域で、地域団体の設置により公益を目的として対面で多言語による観光案内を行う事業に対し補助金を交付する。 ・訪日外国人等が迷うことなくまちをひとり歩きして観光を楽しむことができるよう、フリーWi-Fiや案内サイン等の環境の整備を行う。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	7 多彩な産業が地域に活力を与え、多様な人が集いにぎわうまち	SDGsとの関連		
	施策	7-3 まちのいとなみを楽しむ「都市観光」の推進			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	28,842,494	28,889,855	47,361	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	7,838,636	8,611,007	772,371	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	75,269,260	0	△75,269,260	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	271,931,505	278,410,009	6,478,504	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	1,048,355	1,048,355	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	27,665,400	27,665,400	0	その他	152,066,847	123,391,105	△28,675,742
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	152,066,847	123,391,105	△28,675,742
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,703,497	4,008,073	304,576	行政収支差額	△263,183,945	△225,241,594	37,942,351
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	415,250,792	348,632,699	△66,618,093	通常収支差額	△263,183,945	△225,241,594	37,942,351
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△263,183,945	△225,241,594	37,942,351
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	234,251,900	198,010,035	△36,241,865
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△28,932,045	△27,231,559	1,700,486
	勘定科目	補助費等			勘定科目	物件費		
(内訳等)	決算額の主な内訳	・観光拠点運営費等補助 131,460,281円 ・観光案内施設事業費補助 41,998,000円			決算額の主な内訳	・Wi-Fiアクセスポイント通信料 4,053,720円 ・Wi-Fi機器交換費用 4,010,600円 ・Wi-Fiアクセスポイント電気料 202,587円		
	主な増減理由	・観光団体観光補助の実績増等による商工業観光事業費等振興補助金の増 2,628,054円 ・観光情報センター運営補助費におけるPR活動費等の増 2,144,295円 ・ハッピーハロウィンウィーク等の事業費増に伴う中央区観光商業まつり補助金の増 830,735円			主な増減理由	・Wi-Fiの更改工事に係る委託料の皆増 4,010,600円 ・京橋エドグラン空調設備に係る費用の皆減 △2,042,480円 ・京橋エドグラントイレの部品交換作業費の減 △742,753円		
(内訳等)	勘定科目	投資的経費			勘定科目	その他(行政収入)		
	決算額の主な内訳	・日本橋一丁目中地区における公共公益施設の整備に係る委託費 1,048,355円			決算額の主な内訳	・観光拠点建物貸付料 100,000,000円 ・観光拠点管理費 23,131,356円		
(内訳等)	主な増減理由	・日本橋一丁目中地区における公共公益施設の整備に係る委託費の皆増 1,048,355円			主な増減理由	・観光案内標識盤面等更新費補助の皆減 △28,664,000円 ・京橋エドグランに係る共用部使用料の減 △11,742円		

(単位:円)

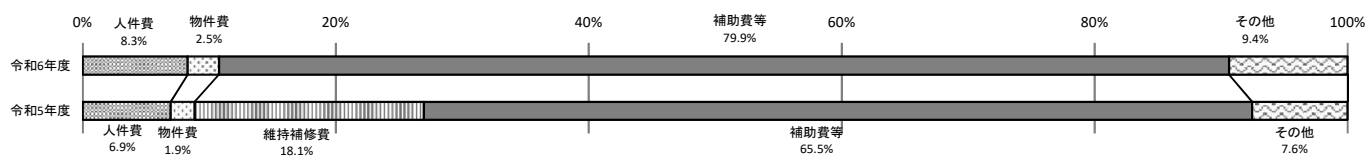
勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	
② 貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0	0	
		その他	0	0		賞与引当金	2,051,181	2,163,413	112,232	
				0		その他	0	0	0	
固定資産	土地	752,726,000	752,726,000	0	固定負債	特別区債	0	0	0	
	建物	707,664,505	690,336,733	△17,327,772			退職給与引当金	19,806,803	18,680,508	△1,126,295
	工作物	26,681,624	20,011,234	△6,670,390			その他	0	0	0
	重要物品	14,669,007	11,001,769	△3,667,238			負債の部合計	21,857,984	20,843,921	△1,014,063
	インフラ資産	0	0	0		正味財産の部合計	1,479,883,152	1,455,659,460	△24,223,692	
	建設仮勘定	0	2,427,645	2,427,645		負債・正味財産の部合計	1,501,741,136	1,476,503,381	△25,237,755	
	その他	0	0	0						
資産の部 合計		1,501,741,136	1,476,503,381	△25,237,755						
勘定科目	土地			建物			工作物			
決算額の主な内訳	・観光拠点敷地 752,726,000円			・観光拠点 690,336,733円			・観光案内標識(18基) 20,011,234円			
主な増減理由	・増減なし			・減価償却による減 △17,327,772円			・減価償却による減 △6,670,390円			

3 実施内容

①	観光拠点の管理	②	観光商業まつり	③	商工業観光事業等振興補助	④	観光案内施設事業費補助
⑤	舟運活性化事業補助	⑥	訪日外国人等受入環境の整備	⑦	日本橋一丁目中地区における公共公益施設の整備	⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪日外国人旅行消費額(億円)	8,987	53,065	81,257
訪都外国人旅行消費額(億円)	4,092	27,586	39,625
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
観光情報センター主催舟運観光ツアー参加者(人)	22	61	0(※1)
観光情報ウェブサイト閲覧数(人)	228,154	443,274	595,895
Wi-Fiアクセス数(件)	317,235	369,571	302,234
Wi-Fiアクセスポイント数(カ所)	25	25	25
中央区観光情報センター来所者数(人)	27,843	33,494	51,619

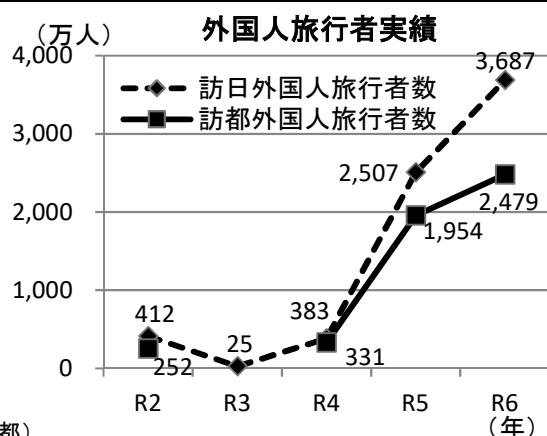
※1 雨天のため中止

<出典>

訪日外国人旅行者数「訪日外客数」(日本政府観光局)

訪日外国人旅行消費額「訪日外国人消費動向調査」(観光庁)

訪都外国人旅行者数・訪都外国人旅行消費額「東京都観光客数等実態調査」(東京都)



令和3年訪都外国人旅行者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査中止が続いたため、年間値の推計なし

5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	- 観光商業まつりでは、オープニングセレモニーを実施し、観光客を含めた多くの人々に周知することで、その後の各種イベントや協賛行事に足を運んでもらうきっかけとなった。また、各種イベントや協賛行事の実施により、地域の一体感やにぎわいの創出につながった。 - 観光情報センターについては、民間事業者ほかNPO等多様な主体が運営する区内観光案内所と連携して、本区の魅力を発信している。年3回程度の連絡協議会を開催し、相互連携を強化するとともに、区内周遊施策としてのスタンプラリーを年1回実施するなど活発な活動を行っている。 - 観光情報センターでは、貸出用車いすの台数を1台増やし、スタッフたちが手話の勉強を行うとともに、バリアフリーのモデルコースを紹介するなど、近年ニーズが高いアクセシブルツーリズムの推進に取り組んでいる。 - 江戸バスが1台増えたことに伴い、新規でWi-Fiを1基設置するとともに、観光案内板およびおもてなしロード沿いの既設Wi-Fiの耐用年数が経過したため、安定したサービスを提供すべく、機種更改工事を行った。
	課題	- 観光案内板の更新には多額の費用がかかるため、国や東京都、東京観光財団等の補助制度の積極的な活用や更新のタイミングを見据え、適正な時期を見極める必要がある。 - 観光情報センターの開設から10年を迎えようとしており、耐用年数を迎えている機器や施設の補修等を行う必要がある。

今後の方向性	- 観光商業まつりについては、各関係団体と連携しながら参加者を魅了するイベントを実施するとともに、公式ホームページやSNSを活用した情報発信を行うことで、区内商業のさらなる活性化を図っていく。 - 観光情報センターについては、さらなる増加が見込まれる訪日外国人旅行者の利便性向上を図るため、観光拠点としての機能を一層強化していくとともに、旅行スタイルの変化等に伴う提供サービスの見直しを含め、リニューアルに向けた検討を行っていく。 - 今後日本を訪れる外国人に向けた「旅マエ」の情報発信を工夫し、本区の魅力を伝えるとともに来訪を促す仕組みを一般社団法人中央区観光協会や観光情報センターとともに引き続き検討していく。 - 観光案内板の次の更新に向け、情報収集に努める。
--------	--

